

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)

【公開番号】特開 2004-48742 (P2004-48742A)

【公開日】平成 16 年 2 月 12 日 (2004.2.12)

【年通号数】公開・登録公報 2004-006

【出願番号】特願 2003-180213 (P2003-180213)

【国際特許分類】

H 0 4 L 9/10 (2006.01)

G 0 6 F 12/14 (2006.01)

G 0 6 K 17/00 (2006.01)

G 0 6 K 19/10 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 9/00 6 2 1 Z

G 0 6 F 12/14 3 2 0 B

G 0 6 K 17/00 T

G 0 6 K 19/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 23 日 (2006.6.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】 暗号サポートロジックと暗号提供ロジックを動作可能に結合するように構成可能であり、少なくとも 1 つのスマートカード特有モジュールを含み、かつ管理機能グループから選択した少なくとも 1 つの管理機能を前記暗号提供ロジックに提供するインタフェースロジックを備えた装置であって、

前記管理機能グループは、

識別管理機能と、ファイル管理機能と、コンテナ管理機能と、暗号法管理機能とを含むインタフェースロジックを含むことを特徴とする装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 4】 前記少なくとも 1 つのスマートカード特有モジュールが、少なくとも 1 つのスマートカードと前記ベース C S P の間にインタフェースを提供することを特徴とする請求項 1 3 に記載の装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 6】 コンピューティングデバイスにおいて使用するのに適したインタフェースロジックを提供するステップであって、前記インタフェースロジックが暗号サポートロジックと暗号提供ロジックを動作可能に結合するように構成可能であって、前記インタフェースロジックが、前記暗号提供ロジックへのインタフェースを提供するように動作

可能に構成可能な少なくとも１つのスマートカード特有モジュールを含むステップと、

前記インタフェースロジックを、それが前記暗号提供ロジックに動作可能に結合された場合に、識別確認アクティビティ、ファイルアクセスアクティビティ、コンテナアクセスアクティビティ、および暗号アルゴリズムアクティビティを含むアクティビティグループから選択した、少なくとも１つのアクティビティを実行するように構成するステップとを含むことを特徴とする方法。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項２９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項２９】 前記少なくとも１つのスマートカード特有モジュールが、少なくとも１つのスマートカードと前記ベースＣＳＰの間にインタフェースを提供することを特徴とする請求項２８に記載の方法。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項３０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項３０】 前記ファイルアクセス機能はスマートカード上へのデータの選択可能な記憶をサポートするように構成されることを特徴とする請求項１６に記載の装置。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項３１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項３１】 暗号サポートロジックと暗号提供ロジックを動作可能に結合するように構成可能なインタフェースロジックを確立するステップであって、前記インタフェースロジックが、前記暗号提供ロジックへのインタフェースを提供するように動作可能に構成可能な少なくとも１つのスマートカード特有モジュールを含むステップと、

前記インタフェースロジックに、識別サポート機能、ファイルアクセスサポート機能、コンテナアクセスサポート機能、および暗号サポート機能を含むサポート機能グループから選択した少なくとも１つのサポート機能を確立させるステップとを含む動作を実行するためのコンピュータ実行可能命令を含むことを特徴とするコンピュータ可読媒体。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項４３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項４３】 前記少なくとも１つのスマートカード特有モジュールにより、少なくとも１つのスマートカードと前記ベースＣＳＰの間にインタフェースを提供するステップを含む、さらなる動作を実行するためのコンピュータ実行可能命令を有することを特徴とする請求項４２に記載のコンピュータ可読媒体。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項４４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項４４】 前記ファイルアクセスサポート機能はスマートカード上へのデータの選択可能な記憶をサポートするように構成されることを特徴とする請求項３１に記載の

装置。